

## Step 3 【2歳児の成長の様子：子育ての目安表】

### 【親のスタンス】

- ・好きな遊びや運動を繰り返し十分経験させる。
- ・十分遊ばせて、食事をしっかり食べさせる。
- ・自分でできることは時間がかかってもさせるようにして見守る。
- ・遊んだあと、後始末を一緒にし、その習慣化を図る。
- ・会話の相手になって、じっくり関わる。
- ◎自我の育ちを認め、気持ちをしっかりと受け止めるが、すべて言いなりには対応できないことをきちんと教える。
- ・家族とは何か（親子のコミュニケーション、家族の絆、家族の大切さなど）を考える。

□に、チェックしていきましょう。

### 1 基本的な運動機能が活発になる

- 走る   とぶ   くぐる   投げる   ける

### 2 自分がしたいことに集中する

☆具体的には

- 好きな遊びを一人で繰り返す。
- いたずら書きや階段を上り下りするなど、自分が満足するまで同じことを繰り返す。
- 次々に遊びが変わるが、その遊びに集中する。
- 紙をちぎったり、破いたり、貼ったり、なぐり書きなどを満足いくまでする。

### 3 身の回りのことを自分でしようとする

- 食事   着脱   排泄    など

### 4 簡単なごっこ遊びができる(ままごと など)

☆具体的には

- ままごと
  - ・コップやお皿スプーンで、食べるまねをする。
  - ・人形を使って、親の役になって世話をする。
  - ・ままごとで身近な人の役を真似たりする。

- 友だちと手をつなぐようになる。
- 「ごっこ遊び」を大人と一緒に楽しむ。

\*近所の遊び場へ連れ出し、他の子と接するチャンスをつくり、親から安心して離れる練習をすることが大切。

## 5 要求を言葉で表し、言葉のやりとりを喜ぶ

◎自分の思いを言葉やしぐさで表現しようとする時であり、大人も生活のいろいろな場面で積極的に話しかけることが大切。

☆具体的には

- おもちゃなどがほしい時、やってほしい時など「かして」「やって」「いれて」などと要求を言葉で言う。
- 「いいよ」「あとで」などと返事をする。
- ほしいものがあると「ちょうだい」ともらいにくる。
- 「～を持ってきた」などと言葉と行動が一致する。
- いろいろ、「あれなーに？」と聞く。
- 「これなーに？」と聞くとその名前を答える。
- 相手の言うことを繰り返す。

## 6 自己主張が強くなる

☆具体的には

- ほしいもの、やりたいことなどを、すぐできないと気がすまない。
- 言い出したら聞かない。
- 自我が発達し「自分でやる!」「いや!」など自己を強く主張したりする。
- 自分の思いどおりにならないことが生じると、物を投げたり、泣いたりして表現するようになる。
- 怒った顔をすることがある。